

大玉で食味がよいビワ新品種 「陽玉」「なつたより」

【背景・目的・成果】 淡路地域で主に栽培されているビワの品種は「田中」で、大果になり外観は美しいが、食味がやや劣るという問題があります。近年品種登録された「陽玉」「なつたより」は、「田中」に比べ果実の大きさは同等程度かそれ以上で、果実品質については食味が優れていることが確認できました。



「陽玉」

【特徴】

- ・果肉は軟らかく、酸味が少なく、食味はよい。
- ・「田中」に比べ果実が大きく、果肉の厚さも厚い。
- ・収穫時期は「田中」よりやや早い中生系統。
- ・収量は「田中」に比べやや多い。

【注意点】

- ・果皮障害はそばかすが発生しやすい。



「なつたより」

【特徴】

- ・果肉は軟らかく、糖度が高く、酸味が少なく、食味はとてもよい。
- ・果実の大きさは「田中」と同程度。
- ・収穫時期は「田中」より12日程度早い早生系統。

【注意点】

- ・収量は「田中」に比べかなり少ない(56%)。
- ・果皮障害の発生は「田中」と同程度。

品種別の果実特性（淡路農技、2010年）

| 品 種 | 収穫期 (月・日) | 収量 (kg)/樹 | 果実重 (g) | 果 肉 | | 果 汁 | | 果皮障害 | | |
|-------|--------------|--------------|------------|------------|-----------|-----------|------------------|----------|-----|---------|
| | | | | 厚さ (mm) | 硬度 (g) | 糖度 (%) | 酸含量 (g/100ml) | そば かす | 裂果 | 紫斑 症 |
| 陽 玉 | 6.14 | 8.2 | 72.4 | 10.8 | 284 | 10.7 | 0.25 | 0.8 | 0.1 | 0.3 |
| なつたより | 6.7 | 4.3 | 61.7 | 9.8 | 230 | 12.9 | 0.19 | 0.4 | 0.1 | 0.1 |
| 田 中 | 6.19 | 7.7 | 64.2 | 9.6 | 382 | 10.3 | 0.34 | 0.3 | 0.2 | 0.2 |

注) 果肉硬度はユニバーサル硬度計（径5mmの円筒形針頭使用）による
果皮障害は無：0、軽：1、甚：3として評価した

【技術の活用】

- 1 「陽玉」はそばかすが発生しやすいため、極大果の摘果、遮光率の高い袋の使用、適期収穫に努める必要があります。
- 2 「なつたより」は樹勢が強く着花性がやや劣るので、収量確保には枝の誘引等による結果枝の確保が必要になります。
- 3 直売を対象にした良食味品種として、改植や高接ぎ更新により導入を進めます。